

次世代自動車の普及のための燃費への選好と個人属性の関連分析

吉田 好邦、北里 雅史、石谷 久

公開日：2014年9月5日

2) 日本シミュレーション学会和文論文誌では、未投稿の「原著論文」を受付けています。迅速で公平な編集を心がけておりますので、ぜひ、みなさまの先端的な研究成果をご投稿ください。

投稿規定など、詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.jsst.jp/j/journal/posting/>

【2】日本シミュレーション学会英文誌 Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)のご案内と投稿のお願い

1) 日本シミュレーション学会英文誌 Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)では、未投稿の「原著論文」を受付けています。

迅速で公平な編集を心がけておりますので、ぜひ、みなさまの先端的な研究成果をご投稿ください。

投稿規定など、詳細はこちらをご覧ください。

<http://jasse.jsst.jp/>

2) 日本シミュレーション学会英文誌 Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)の下記特集号の締切り延長のお知らせ

Special Section on “Semiconductor Device Simulation”

Special Section on “Simulation on Mechanical Engineering”

Special Section on “Visualization and Simulation Software”

<http://jasse.jsst.jp/cfp/>

に関して締切を1か月延長し、9月30日(火)までとなっております。

【3】イベントニュース, 人事公募情報一覧

[First announcement][主催]

・国際会議 AsiaSim & JSST 2014 について

今回のJSSTの年次大会は、北九州市で開催される国際会議

Asia Simulation Conference (AsiaSim)に続けて開催いたします。

>> <http://asc2014.jsst.jp/>

- AsiaSim 2014: 10月26日(日) ~ 28日(火)

- JSST 2014: 10月29日(水) ~ 30日(木)

場所：北九州国際会議場

参加登録の期限は、9月30日です。

AsiaSim 2014 と JSST 2014 のどちらかだけでも参加可能です。

皆様、奮ってご参加ください。

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.462 ** 2014/9/2

=====

+++++

公開シンポジウム「初等・中等教育課程における『ヒトの遺伝学』教育の課題
と推進方策」の開催について

日本学術会議政治学委員会シンポジウム・第25回中央大学学術シンポジウムの
ご案内

+++++

■-----

公開シンポジウム「初等・中等教育課程における『ヒトの遺伝学』教育の課題と
推進方策」の開催について

-----■

公開シンポジウム

『初等・中等教育課程における「ヒトの遺伝学」教育の課題と推進方策』

開催趣旨：

我が国では、初等・中等教育課程において、ヒトの遺伝についての教育がほとんど
行われていない。そのため、今日の遺伝学や遺伝医療における 著しい進歩を正し
く理解し社会生活の中で活用していくためのリテラシーが、著しく不足している。

例えば、人々の遺伝や遺伝性疾患などに関する理解不足から、遺伝性疾患やその患者に対する誤解や偏見が生まれ、また、新型出生前診断の開発やその適用の広がりによる生命の選別や、中絶の増加などの可能性が懸念されている。また遺伝リテラシーの不足は、理由のない人種差別や偏見を生む原因にもなっている。そういった状況を改善するために、初等・中等教育課程からのヒトの遺伝学教育の必要性が叫ばれるようになって久しいが、未だ実現に至っていない。

人々が多様性を受容する社会を作り、遺伝医療の正しい発展を支えるためには、社会における遺伝リテラシーを定着させることが不可欠と考えられるが、そこにはどのような課題があり、また推進方策が考えられるのか、教育関係者、人類遺伝学や遺伝性疾患・遺伝医療の専門家などにより、課題の所在を明らかにし、将来に向けて何が出来るかを議論したい。

日時：平成26年9月6日(土) 14:30～16:30

場所：お茶の水女子大学理学部3号館701室

主催：日本学術会議第二部会

共催：お茶の水女子大学、日本人類遺伝学会、日本科学教育学会、日本遺伝カウンセリング学会、日本遺伝学会、人間情報学会、NPO法人 遺伝カウンセリング・ジャパン

次第：

14:30 開会の挨拶

山本 正幸（日本学術会議第二部長、基礎生物学研究所 所長）

14:35 生物学教育におけるヒト多様性

市石 博（東京都立国分寺高校教諭）

15:05 ヒトの遺伝リテラシー向上を目指した遺伝医学関連学会の取組

渡邊 淳（日本医科大学附属病院遺伝診療科准教授）

15:35 パネルディスカッション

（司 会）室伏 きみ子（日本学術会議第二部会員、お茶の水女子大学名誉教授）

（パネリスト）福嶋 義光（日本学術会議連携会員、信州大学医学部教授）

齋藤 加代子（東京女子医科大学 遺伝子医療センター教授）

高田 史男（北里大学大学院教授）

蘭部 幸枝（お茶の水女子大学附属中学校教諭）

16:30 閉会

<参加申し込み> 締め切り：9月5日

受付 FAX： 03-5978-5362（お茶の水女子大学 室伏研）

address：murofushi.kinenkai@gmail.com

参加費： 無料 定員： 200名

■-----
日本学術会議政治学委員会シンポジウム・第25回中央大学学術シンポジウムのご案内
-----■

「進む少子高齢化/大都市圏郊外自治体の構造的危機」

1. 開催日時 平成26年9月13日（土）13：30～16：45
2. 開催場所 中央大学駿河台記念館講堂
3. 主催 日本学術会議政治学委員会、日本学術会議政治学委員会行政学・地方自治分科会、
中央大学経済研究所（第25回中央大学学術シンポジウム）
4. 開催趣旨 大都市圏も人口絶対減社会に入り始めた。かつて人口増対策として開発されたニュータウン、郊外の住宅団地や戸建て住宅群もいまやシルバータウンの様相を強め、子供、若者の少ないまちになり始めた。特に団塊の世代の大量退職に伴い、住民税を納める所得階層が急激に減り始め、一方で増える社会保障需要などに対応しきれず、財政危機が襲っている自治体も出始めている。自治体行政の構造的危機は今後より深刻度を増すのではないか。また地元の地方議会の議員にもなり手が無いなど無競争当選が相次ぐさまである。大都市は豊かだとされた時代が去りつつある。都心部の自治体を含め、こうした構造的な危機にあえぎ始めた大都市圏自治体の実態とその問題点を明らかにする。その上で、待機児童ゼロ作戦など少子化対策、高齢者の職づくり戦略など新たな挑戦も生まれてきている。都市政策の方向転換を問う社会変動に自治体はどう立ち向かうか、実践の場で活躍する首長、学者らを招き、講演とディスカッションで徹底解明を図ってみたい。

5. 次第：

司 会 川井 綾子（フリーキャスター）

開会挨拶 猪口 邦子（日本学術会議第一部会員、参議院議員）

< 第1部・講演 > 13：30～15：05

講演 1 曾根 泰教（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
「少子高齢化が直撃する日本の大都市 - 東京が危ない」

講演 2 山崎 朗（中央大学経済学部教授）
「大都市圏郊外自治体の危機と地域政策」

講演 3 土居 丈朗（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学経済学部教授）
「大都市圏郊外自治体の空洞化と税財政」

< 休憩 >

< 第 2 部・パネルディスカッション > 15:15 ~ 16:35 (80 分)

「進む少子高齢化/大都市圏郊外自治体の構造的危機」

パネリスト

並木 心（東京都羽村市長、東京都市長会副会長）

曾根 泰教（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

山崎 朗（中央大学経済学部教授）

土居 丈朗（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学経済学部教授）

コーディネーター

佐々木信夫（日本学術会議第一部会員、中央大学教授）

16 : 35 ~ 16 : 45 閉会の挨拶

石川 利治（中央大学経済研究所長、経済学部教授）

詳細についてはポスターをご参照ください。

6 . 問い合わせ先 日本学術会議事務局・第一部担当 原田

s251@scj.go.jp

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

=====

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.463 ** 2014/9/5

=====

=====

+++++

+++++

異和行第三部会員が ICSU (International Council for Science : 国際科学会議) 理事に当選しました。

ユネスコ「科学研究者の地位に関する勧告」の改訂に係るパブリックコメントのお知らせについて

+++++

+++++

■-----

異和行第三部会員が ICSU (International Council for Science : 国際科学会議) 理事に当選しました。

-----■

オークランド(ニュージーランド)で開催された ICSU 第 31 回総会において、平成 26 年 9 月 3 日(水)夕方に実施された理事選挙の結果、異和行第三部会員が ICSU 理事に選出されました。

御協力いただきました先生方におかれましては、この場をお借りして御礼申

上げます。

選挙結果は以下のとおりです。

【役員】

次期会長：Daya Reddy (South Africa)

副会長 (科学計画・評価担当): Jinghai Li (China: CAST)

副会長 (渉外担当): Michael Clegg (USA)

SG (専務理事): David Black (Australia)

財務担当：Barbara Erazmus (IUPAP)

【理事】

ナショナルメンバーから選出

- 1 John Ball (UK)
- 2 Raghavendra Gadagkar (India)
- 3 Nicole Moreau (France)
- 4 Kazuyuki Tatsumi (Japan)

ユニオンメンバーから選出

- 1 Manuel de Leon (IMU)
- 2 John Buckeridge (IUBS)
- 3 Orhan Altan (ISPRS)
- 4 Cheryl de la Rey (IUPsyP)

■-----

ユネスコ「科学研究者の地位に関する勧告」の改訂に係るパブリックコメントのお知らせについて

-----■

□概要

科学者の義務と責任を明らかにし、その正当な地位を保障することを目的に、

1974年のユネスコ総会において採択された「科学研究者の地位に関する勧告」につきまして、科学における倫理や一般の倫理的枠組みの発展に伴い、本勧告の改訂が求められております。現在、ユネスコにおいて改訂に向けた検討が進められており、その材料とするため、ユネスコのウェブサイトにおいてパブリックコメントが募集されております。

(ユネスコのパブリックコメントのサイト)

<http://www.unesco.org/new/en/social-and-human-sciences/themes/bioethics/call-for-advice-revision-of-unesco-recommendation-on-the-status-of-scientific-researchers/>

□締切

平成26年11月1日

□参考

○勧告原文

http://portal.unesco.org/en/ev.php-URL_ID=13131&URL_DO=DO_TOPIC&URL_SECTION=201.html

○勧告仮訳

<http://www.mext.go.jp/unesco/009/004/014.pdf>

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

=====

////////////////////////////////////

■□■横幹連合ニュースレター 2014年8月号(No.38) ■□■

<http://www.trafst.jp/nl/038/index.html> 編集:ニュースレター編集室

////////////////////////////////////

=====

<<目次と 主な掲載内容 >>

1●巻頭メッセージ

横幹的研究の展開と発展へ向けての広報・出版委員会の取組と課題

..... 有馬昌宏（兵庫県立大学教授、横幹連合理事）

横幹連合の理事に就任して、現在2年目。勝手がまだ、良くは分かりませんが、いまに、本年度の広報・出版委員会の委員長を拝命しました。慣れないながらも、他の委員の皆様にご助けをいただき、年4回の横幹ニュースレターの発行、横幹連合パンフレットの改訂、参加学会の年次大会公開システムの構築（プログラムとアブストラクトの公開）などの委員会としての活動に、現在取り組んでおります。この度のニュースレター巻頭メッセージの執筆という機会を得て、広報・出版委員会の活動を紹介させていただきながら、横幹的研究の展開と発展に向けて、広報・出版委員会からの活動がどのように貢献できるかの私見を述べさせていただきます。

横幹連合は、その設立趣旨に謳われているように、「限りなくタテに細分化されつつある科学技術の現実の姿に対して、『横』の軸の重要性を訴え、それを強化するためのさまざまな活動を行う」学会の連合組織体です。そのために、「文理にまたがる43（設立時）の学会が、自然科学とならぶ技術の基礎である『基幹科学』の発展と振興をめざして大同団結」して結成されました。2005年の「コトづくり長野宣言」、2007年の京都宣言「コトづくりによるイノベーションの推進」、そして、2011年の理事会声明「震災の克服と強靱な社会の再構築に向けて」などにも明示されておりますが、（1）モノづくりからコトづくりへの転換の必要性、ならびに、（2）「技術と社会の接点で生まれた諸問題を解決すべく、知を統合するプロセスを通じて分野横断的な新しい知が創出される」ような横断的統合領域における研究の必要性を説くとともに、その実践を行ってきました。そうした努力の結果、多くの横断的統合領域での研究成果の蓄積が進んでおります。

==>> 続きはこちら <http://www.trafst.jp/nl/038/index.html>

2●活動紹介

【活動紹介】 第40回横幹技術フォーラム

2014年1月24日、日本大学 経済学部において、第40回横幹技術フォーラム「社会デザインのためのエージェントベース・シミュレーション」が開催された。

今回の企画の趣旨を理解するためには、総合司会と講演1を担当された出口弘氏の経歴のご紹介が、早道となるだろう。氏は、東京工業大学総合理工学研究科、知能システム科学専攻の教授で、研究分野は「エージェントベース社会システム科学」(ABSSS、Agent-Based Social Systems Science)「社会シミュレーション・主体を含む複雑系」「進化経済学」「ゲーミングシミュレーション」である。特に、「エージェントベース社会システム科学」の確立について、自らの研究室のミッションである、と位置づけられている。(略)

さて、出口弘氏の講演「社会デザインのためのエージェントベース・シミュレーション (Social Architecture Design via Agent-Based Modeling)」は、「社会システム」のデザインにおいて、シミュレーションを用いるメリットを枚挙する事から始まった。このとき、社会の制度設計やビジネスの組織目的を達成する「社会デザイン」において、その社会や組織のステークホルダー(利害関係者)が介入操作できるような水準で、その設計案のモデルやシナリオを構築する事ができれば、

(利害関係者は、)

(1) それぞれのシナリオが抱える将来のリスクを、関係者自身が、自律的に解析・比較参照できる事から、

(2) 将来の不確実性に、関係者自らが対処する形で、

(3) 社会的制度の機能要件を十分に満たす、または、その組織の目的が達成できるような制度設計が、可能になるはずである。

こうした「シナリオによるリスク予測」として有名なものに、春秋戦国時代の墨子のシミュレーションがあって、氏は先ずこれを紹介した。その逸話では、墨子が、宋という当時の弱小国に仕官していたときに、大国である楚が、最新兵器の雲梯(うんてい、ハシゴ車のようなもの)を用いて攻めてくるといふ情報を得たとされており、墨子は単身で、楚の国王に会いに出かけた。そして、国王の面前で、机上で9回のシミュレーション(模擬戦)を行って、どの場合にも宋が見事に撃退に成功したので、楚の国王は進軍を思いとどまらざるを得なかった、と伝えられている。

エージェントベース・モデリングによるシミュレーションでも、この逸話と同様

に、設計案のモデルや複数のシナリオ（とそのリスク）が、利害関係者の自律的な相互関係を包摂する形で記述・公開できる。

==>>続きはこちら <http://www.trafst.jp/nl/038/report.html>

3●参加学会の横顔

横幹連合に参加している学会を紹介するコーナーです。

日本計画行政学会

==>>詳細はこちら <http://www.trafst.jp/nl/038/profile.html>

4●イベント紹介

横幹連合の主催・共催イベントの開催情報です。

==>詳細はこちら <http://www.trafst.jp/nl/038/event.html>

【これから開催されるイベント】

「第5回横幹連合総合シンポジウム」

日時：2014年11月29日（土）～30日（日）

会場：東京大学 本郷キャンパス

【これまでに開催したイベント】

これまでに開催したイベントの記録です。

==>詳細はこちら <http://www.trafst.jp/nl/038/event.html>

=====

横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）池田理香
Transdisciplinary Federation of Science and Technology

事務局 e-mail: office@trafst.jp tel&fax: 03-3814-4130

ホームページ: <http://www.trafst.jp/>

所在地: 東京都文京区本郷 1-35-28-303 〒113-0033

(公益社団法人)計測自動制御学会 事務局内

■ 人事公募情報一覧

□ 新情報

ございません。

□ 既存情報

[電気通信大学 知能機械工学専攻 教員公募のお知らせ] 准教授 1名

応募締切 2014年 10月 14日(火) 午後5時(日本時間) 必着

>><http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140723.html>

[独立行政法人海洋研究開発機構からの研究員もしくは技術研究員公募のお知らせ]

応募締切 2014年 10月 20日(月) 必着

>><http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140828.html>

■ニュースレターの配信アドレスの変更、配信停止、各種お問い合わせ先

=====

・ 配信アドレスの変更および配信停止をご希望される場合には、題名をそれぞれ

「アドレス変更」「配信不要」として、日本シミュレーション学会事務局

office@jsst.jp までご送信ください。

・ 各種お問い合わせおよび本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願い
いたします。

・ 貴学あるいは貴所で外部の方も参加できる講演会や催しが御座いましたら会員で共有し
たいと存じます。何かございましたら是非事務局に情報をお送り頂きますようお願いし
ます。

ニュースレター配信依頼の原稿は、原則、月曜日の配信となります。

(なお、月曜日が祝日の際は、前後する場合がございますので、ご了承願います。)

• -----

一般社団法人 日本シミュレーション学会
事務局

〒162-0808

東京都新宿区天神町 78

T E L : 03-3235-2150 / F A X : 03-3268-3057

e - m a i l : office@jsst.jp

ホームページ : <http://www.jsst.jp/j/>

----- •